



茨木市初の大学生参画の「子ども食堂」誕生へ 「子ども食堂」運営に追手門学院大学生が参画

追手門学院大学（大阪府茨木市：学長 坂井東洋男）で社会福祉を学んでいる社会学部の古川隆司ゼミの学生らが、4月から大学の近くでスタートする「子ども食堂」の運営に参画します。これに先立ち3月29日（水）に「子ども食堂」のプレオープンイベントを開催します。

古川ゼミは昨年、茨木市社会福祉協議会が推進している空き家などを活用したコミュニティ施設を整備する事業に参画し、大学に近い耳原（みのはら）地区の建物を地域の交流施設「子民家よってこ」にリフォームする手伝いをしました。今回の「子ども食堂」は、この「子民家よってこ」で初めて行うもので、古川ゼミの学生や卒業生に加え地域の人たちも参加し、100人分のカレーライス子どもとその保護者に振る舞います。食事の後は子ども達の勉強の支援をしたり、子ども達と一緒に近くの公園の清掃をしたりする予定です。



「子民家よってこ」お披露目会の様子

「子民家よってこ」での「子ども食堂」は4月から毎月1回程度実施する見込みで、古川ゼミの学生も運営に参画していきます。茨木市社会福祉協議会によりますと、茨木市内にはNPO法人が実施している子ども食堂が4か所あるということですが、社会福祉協議会で実施するのは初めてだということです。

報道関係の皆様には、地域の取り組みと合わせて学生たちの様子の取材もご検討いただきますよう、お願いいたします。

※「子ども食堂」とは

子どもが一人でやってきても気軽に食事ができる場を地域ぐるみで提供する取り組みのこと。今回スタートする「子ども食堂」では小学生以下の子どものみもしくは子どもとその保護者を対象にしている。

【ポイント】

- 茨木市社会福祉協議会初の「子ども食堂」事業スタート
- 「子ども食堂」運営に追手門学院大学生らも参画。地域・行政・大学の取り組み
- 「子ども食堂」は4月から毎月1回実施。追手門学院大学生もお手伝い

【子ども食堂プレオープン実施日】

日時：2017年3月29日 11時～14時

会場：子民家よってこ（茨木市耳原3-6 耳原児童遊園内）

内容：昼食としてカレーライス（100人分）を、子どものみもしくは子どもとその保護者に振る舞う。

子どもは100円、保護者は300円の個人負担。参加者でにぎやかで楽しい昼食をとり、勉強や清掃活動などを予定。

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 坂倉・谷ノ内